

都城工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	英文法Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0030	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	物質工学科	対象学年	2	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	MY WAY English Expression I New Edition (三省堂) 978-4-385-76466-5 / MY WAY English Expression I New Edition WORKBOOK (三省堂) 978-4-385-53795-5 / クラウン総合英語 第3版 (三省堂) 978-4385200996			
担当教員	飯尾 高明			
到達目標				
1. 文型や時制といった英文法の根幹にあたる概念について学習し、それらの基本的な用法を理解することができる。 2. 助動詞を用いて細かなニュアンスを表現したり、能動態と受動態を区別し互いに書き換えたりすることができる。 3. 英文法の基礎的な知識を活用して、実際の英語運用に役立てることができる。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	文法知識にもとづいて英文の主意を把握し、またわからない語句を調べることで正確な意味を理解できる。	文法知識にもとづいて英文の主意を把握し、またわからない語句を調べることで、ほぼ正確な意味を理解できる。	文法知識にもとづいて英文の意味を推測し、またわからない語句を調べることで、ある程度の意味を理解できる。	
評価項目2	50～60語程度のまとまった文章を、読み手に伝わるように文法的に正しい英語で書くことができる。	30～40語程度のまとまった文章を、読み手に伝わるようにおおむね文法的に正しい英語で書くことができる。	20～30語程度の文章を、部分によっては文法的に正しい英語で書くことができる。	
評価項目3	事前に準備すれば、聞き手に伝わりやすい構成を考えて、自分の伝えたい事柄をほぼ文法的に正しい英語で話すことができる。	事前に準備すれば、自分の伝えたい事柄をおおむね文法的に正しい英語で話すことができる。	事前に準備すれば、文法を意識して自分の伝えたい事柄を最低限英語で話すことができる。	
評価項目4	相手が明瞭な英語を話していれば、文法知識にもとづいて発話の内容をほぼ正確に理解できる。	相手が明瞭な英語を話していれば、文法知識にもとづいて発話の内容をおおむね理解できる。	相手が明瞭な英語を話していれば、文法知識にもとづいて発話の内容を推測することができる。	
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 3-3				
教育方法等				
概要	英語の4技能(読む・書く・話す・聞く)の土台となる文法事項を体系的に習得することを目的とする。			
授業の進め方・方法	1. 電子辞書を毎回かならず持ってくる。また日頃から辞書を引く習慣を身につけること。 2. 教科書・ワークブックの解説をメモするために授業用ノートを用意すること。 3. 音読の際には必ず声を出してCD音声のイントネーションとリズムを覚えること。 5. 各Lesson左ページの文法解説に目をとおり、練習問題を解いたうえで授業に出席すること。 6. 授業中に理解できなかった部分については、参考書を活用して授業後に復習するよう努めること。 7. ワークブックを随時回収し日頃の学習状況をチェックするので、その他の提出課題と合わせて確実に取り組むように心がけること。			
注意点	1. 追試験は正当な理由がある場合のみ受験が認められる。 2. 学年末の成績評価が60点未満の者は次年度に再試験を受験することができる。 3. 学年末の成績評価が一定基準を満たしている者は年度内再試験を受験することができる。			
ポートフォリオ				

(学生記入欄)

【理解の度合】理解の度合について記入してください。

(記入例) ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。

- ・前期中間試験まで :
- ・前期末試験まで :
- ・後期中間試験まで :
- ・学年末試験まで :

【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。

(記入例) ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。

- ・前期中間試験 点数: 総評:
- ・前期末試験 点数: 総評:
- ・後期中間試験 点数: 総評:
- ・学年末試験 点数: 総評:

【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。

- ・総合評価の点数: 総評:

(教員記入欄)

【授業計画の説明】実施状況を記入してください。

【授業の実施状況】実施状況を記入してください。

- ・前期中間試験まで :
- ・前期末試験まで :
- ・後期中間試験まで :
- ・学年末試験まで :

【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。

授業の属性・履修上の区分

アクティブラーニング
 ICT 利用
 遠隔授業対応
 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業計画の説明、授業の導入 Lesson 10 不定詞 1 (名詞的用法)	授業計画・達成目標・成績評価等の説明を聞き、授業概要を理解する。不定詞の名詞的用法、仮主語・仮目的語itの基本的な意味と用法を理解している
		2週	Lesson 10 不定詞 1 (名詞的用法)	不定詞の名詞的用法、仮主語・仮目的語itの基本的な意味と用法を理解している。「~すること」「~することは、...である」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
		3週	Lesson 11 不定詞 2 (副詞的用法/形容詞的用法)	不定詞の副詞的用法、形容詞的用法の基本的な意味と用法を理解している。
		4週	Lesson 11 不定詞 2 (副詞的用法/形容詞的用法)	不定詞の副詞的用法、形容詞的用法の基本的な意味と用法を理解している。「~するために...」「~して」「~するための...」「~のための...」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
		5週	Lesson 12 動名詞	動名詞のさまざまな用法の基本的な意味と用法を理解している。
		6週	Lesson 12 動名詞	動名詞のさまざまな用法の基本的な意味と用法を理解している。「~すること」「~することを楽しむ」「~することを考える」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
		7週	Lesson 13 分詞 1 (限定用法)	現在分詞、過去分詞の限定用法の基本的な用法を理解している。
		8週	前期中間試験、答案返却及び解説	第1週から第7週の学習内容が定着しているかを確認する。試験のふりかえり及びポートフォリオの記入を行う。
	2ndQ	9週	Lesson 14 分詞 2 (補語となる分詞/分詞構文)	分詞の叙述用法、分詞構文の基礎の基本的な用法を理解している。
		10週	Lesson 14 分詞 2 (補語となる分詞/分詞構文)	分詞の叙述用法、分詞構文の基礎の基本的な用法を理解している。「ずっと~している」「~の状態にする」「~しながら」「~の時に」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
		11週	Lesson 15 知覚動詞/使役動詞	知覚動詞、使役動詞の基本的な用法を理解している。
		12週	Lesson 15 知覚動詞/使役動詞	知覚動詞、使役動詞の基本的な用法を理解している。「...が~しているのを見た」「人やものに~させる」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。

		13週	Review Exercises 3/Project Work C/Grammar for Communication 3	準動詞の理解を深め、不定詞と動名詞の用法の違いに関する理解を深める。
		14週	Lesson 16 比較 1 (比較級/最上級)	比較級、最上級の基本的な用法を理解している。
		15週	Lesson 16 比較 1 (比較級/最上級)	比較級、最上級の応用的な用法を理解している。
		16週	前期末試験、試験答案の返却及び解説	第9週～第15週の学習内容が定着しているかを確認する。試験のふりかえり及びポートフォリオの記入を行う。
後期	3rdQ	1週	Lesson 17 比較 2 (as ... as ~ / 最上を表す表現)	<as ... as ~> <no other A+動詞+as~as B>の基本的な用法を理解している。
		2週	Lesson 17 比較 2 (as ... as ~ / 最上を表す表現)	<as ... as ~> <no other A+動詞+as~as B>の応用的な用法を理解している。
		3週	Lesson 18 関係代名詞 1 (主格/目的格と省略)	関係代名詞who, whichの主格・目的格用法と省略の基本的な用法を理解している。
		4週	Lesson 19 関係代名詞 2 (whose・what/that)	関係代名詞whose,that, whatの基本的な用法を理解している。
		5週	Lesson 19 関係代名詞 2 (whose・what/that)	関係代名詞whose,that, whatの様々な用法を理解している。
		6週	Lesson 20 関係副詞	関係副詞where,when, why,howの用法の基本的な用法を理解している。「~する理由」「~する方法」「~である場所」「~であるとき」などについて、適切な英語を書くことができる。
		7週	Review Exercises 4/Project Work D/Grammar for Communication 4	比較及び関係代名詞、関係副詞の理解を深める。形容詞、修飾語句の後置修飾の用法についての知識を深める。
		8週	後期中間試験、答案返却及び解説	第1週から第7週の学習内容が定着しているかを確認する。試験のふりかえり及びポートフォリオの記入を行う。
	4thQ	9週	Lesson 21 仮定法過去/仮定法過去完了	仮定法過去、仮定法過去完了の基本的な用法を理解している。
		10週	Lesson 21 仮定法過去/仮定法過去完了	仮定法過去、仮定法過去完了の様々な用法を理解している。
		11週	Lesson 22 その他の仮定表現	<wish+仮定法の文> <as if+仮定法の文>の基本的な用法を理解している。
		12週	Lesson 22 その他の仮定表現	<wish+仮定法の文> <as if+仮定法の文>の様々な用法を理解している。
		13週	Lesson 23 部分否定/準否定語	部分否定、hardlyなどの準否定語の基本的な用法を理解している。
		14週	Lesson 23 部分否定/準否定語	部分否定、hardlyなどの準否定語の基本的な用法を理解している。
		15週	Lesson 24 間接話法と時制の一致	さまざまな間接話法の文の基本的な用法を理解している。
		16週	学年末試験、試験答案の返却及び解説	16週目に学年末試験を行い、第9週～第15週の学習内容が定着しているかを確認する。17週目は答案返却及びポートフォリオの記入を行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				英語運用能力の基礎固め	1	後2,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13

			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	後1,後2,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	後2,後5,後7,後11,後13
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	後2,後5,後7,後9,後11,後13,後16
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	後2,後9,後11,後13,後16
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後15
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	

評価割合

	定期試験	発表	課題・平常点	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	20	0	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0